

## いろは坂

日光市と奥日光を結ぶ景勝街道で、第一いろは坂と第二いろは坂と呼ばれる一方通行の2つの道に分かれている。麓の馬返し地区と上部の山頂の中禅寺湖の間を440mのじぐざぐ道で登っていく。

いろはとは、五十音の四十八文字を一度だけ使った詩の名前である。この詩は、道の曲がり角にある標識に一文字ずつ書かれている。上り（第二いろは坂）は最初の二十文字、下り（第一いろは坂）は二十一文字目から始まり、詩が終わる。ちなみに、この詩は仏教の概念に言及しており、「変化の絶えない深い山を越えて」ということを意味している。

第一いろは坂は華嚴峡の北側にあり、全長6.5km。

第二いろは坂は華嚴峡の南側にあり、長さは9.5km。